

2019 年度業績発表

2020 年 3 月 4 日

Leading Beyond Chemistry(新スローガン)

- ・ 2019 年業績予想を達成: 調整後 EBITDA は 21.53 億ユーロ、フリーキャッシュフローが大幅に改善
- ・ 2020 年業績見通し: 調整後 EBITDA は 20 億から 23 億ユーロ、フリーキャッシュフローは微増
- ・ 経営戦略に沿った組織変更を 7 月に実施

本件に関するお問合せ
エボニック ジャパン(株)
コミュニケーションズ
TEL 03-5323-7353
FAX 03-5323-7399
E-mail: info-jp@evonik.com

エボニック インダストリーズ(本社:ドイツ、エッセン)は、世界経済の悪化にも関わらず、安定的な収益を 2019 年度も維持しました。2019 年度調整後 EBITDA は、21.53 億ユーロ(2018 年:21.5 億ユーロ)、売上高は前年から 1%減の 131 億ユーロとなりました。

「私たちエボニックは、前年度よりも著しく厳しい市場環境において、目標を達成し、収益を安定的に維持しました。これは、エボニックの信頼性と安定性を表すものです」と、エボニック インダストリーズ取締役会長クリスチャン・クルマン(Christian Kullmann)はコメントしています。

5 月 27 日に開催される株主総会で、取締役会と監査役会は、1 株あたり 1.15 ユーロの配当を提案する予定です。2019 年度末の株価終値に基づき 4.2%の配当利回りが得られ、エボニックは一流の化学企業としての地位を証明します。

2019 年度純利益は、7 月に行われたメタクリレート事業売却により得られた収入のため、昨年から倍増した 21 億ユーロとなりました。

エボニックは、メタクリレート事業の売却に関連する課税を除外前に、7.17 億ユーロのキャッシュフローを生み出し、キャッシュフローは前年に比べ大幅に改善されました。

「過去数年間に実施されたキャッシュフローを改善する試みが功を奏しました。今年、さらにフリーキャッシュフローを改善させる予定です」と、CFO ウテ・ヴォルフ(Ute Wolf)はコメントしています。

2020 年、エボニックはスペシャルティビジネスにおけるさらなる成長を期待しています。一方、世界経済の鈍化は、コモディティ化されたビジネスにより影響があると予想されます。これに基づき、エボニックは 2020 年も安定的な売上

エボニック ジャパン 株式会社
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

高を維持し、調整後 EBITDA は 20 億から 23 億ユーロの間となると予想しています。

エボニックは一貫して戦略的な経営の実施に取り組んでいます。この度、2 年前に設定した今後成長が見込まれる分野にあわせた組織変更を行います。7 月 1 日付で現在運用されているセグメント組織から、ビジネス規模と特性においてよりバランスの取れたディビジョンによる管理に移行します。この新組織は、明確な戦略的役割、共通するエンド・マーケット、およびテクノロジー・プラットフォームの連携を実現できるため、よりわかりやすい管理が可能となります。「スペシャルティアディティブス」「ニュートリション&ケア」「スマートマテリアルズ」「パフォーマンスマテリアルズ」の 4 つのディビジョンが組織されます。同時に、新たにエボニックを表現したブランドスローガンを制定、「Leading beyond chemistry, to improve life, today and tomorrow」。この意味するところは「化学のその先へ、今日、そして明日の暮らしを豊かに」です。

「このスローガンは私たちの羅針盤となるでしょう。自分たちを理解することは、前進するために何が必要なのかを知ることを意味します」と、クルマンはコメントしています。

各事業部門の業績

リソースエフィシエンシー: 2019 年度売上高は、昨年と同様の 56.9 億ユーロとなりました。コーティング、コーティング & アドヒーズプレジンス、オイルアディティブスは、自動車、コーティング業界のゆるやかな需要によりネガティブな影響を受けました。シリカは、接着剤及びシリコンの最終市場での販売数量が減少しました。対照的に、ハイパフォーマンスポリマーズは、3D プリンティング業界からの需要、また、メンブレンの需要が堅調でした。環境に優しいコーティングシステムと高性能複合材料に使用されるクロスリンカー(架橋剤)は、風力発電市場における高い需要の恩恵を受けています。アクティブオキシジェン(過酸化水素)は、良好な需要とライセンス収入の恩恵を受けました。同事業部門の調整後 EBITDA は前年から 1%増の 12.9 億ユーロです。

ニュートリション&ケア: 年間売上高は、1%減の 45.8 億ユーロとなりました。飼料添加剤である必須アミノ酸の高い需要にも関わらず、販売価格が年間を通じて下落が続きました。化粧品向けのスペシャルティ製品は順調な伸びを見せました。同事業部門の調整後 EBITDA は前年から 10%減の 7.28 億ユーロです。

パフォーマンスマテリアルズ: 売上高は、9%減の 20.4 億ユーロとなりました。パフォーマンスインターミディエイツ事業の開発は、原油の低価格、原材料の供給のボトルネック、プラントのダウンタイムの影響を受けました。同事業部門の調整後 EBITDA は、前年から 6%減の 2.24 億ユーロです。

エボニックグループ：損益計算書(抜粋)

(単位:100 万ユーロ)	2018 第4四半期	2019 第4四半期	増減 (%)	2018	2019	増減(%)
売上高	3,261	3,284	1	13,267	13,108	-1
調整後 EBITDA	402	505	26	2,150	2,153	
調整後 EBIT	200	253	27	1,361	1,201	-12
調整	-265	-1		-312	-115	
純金融費用	-22	-19		-155	-132	
税引前利益(継続事業)	-87	233		894	954	7
法人税等	51	-26		-186	-180	
税引後利益(継続事業)	-36	207		708	774	9
税引後利益(非継続事業)	48	-43		246	1,353	
税引後利益	12	164		954	2,127	123
非支配持分	8	4		22	21	
当期純利益	4	160		932	2,106	126
調整後当期純利益	167	231	38	1,014	902	-11

前年度数値は再掲載

各事業部門の業績

(単位:100 万ユーロ)	売上高			調整後 EBITDA		
	2018 第4四半期	2019 第4四半期	増減 (%)	2018 第4四半期	2019 第4四半期	増減(%)
ニュートリション&ケア	1,172	1,163	-1	167	170	2
リソースエフィシエンシー	1,402	1,387	-1	256	314	23
パフォーマンスマテリアルズ	506	495	-2	46	50	9
サービス	175	221	26	-	24	
その他事業	6	18		-67	-53	
グループ全体	3,261	3,284	1	402	505	26
(単位:100 万ユーロ)	売上高			調整後 EBITDA		
	2018	2019	増減(%)	2018	2019	増減(%)
ニュートリション&ケア	4,646	4,582	-1	810	728	-10
リソースエフィシエンシー	5,708	5,685		1,283	1,290	1
パフォーマンスマテリアルズ	2,233	2,043	-9	239	224	-6
サービス	664	763	15	100	122	22
その他事業	16	35		-282	-211	
グループ全体	13,267	13,108	-1	2,150	2,153	

前年度数値は修正表示

エボニックグループの事業部門別従業員数

	2018年 12月31日	2019年 12月31日
ニュートリション&ケア	8,218	8,090
リソースエフィシエンシー	10,270	10,153
パフォーマンスマテリアルズ	1,539	1,622
サービス	12,091	12,037
その他事業	505	521
継続事業	32,623	34,423
非継続事業	3,420	-
グループ全体	36,043	34,423

エボニック インダストリーズについて

エボニックは、100カ国以上で事業を展開するスペシャルティケミカルの世界的リーダーの1つです。

2019年度は、131億ユーロの売上、21.5億ユーロの営業利益(調整後 EBITDA)を計上しました。

革新的で収益性の高い持続可能なソリューションをお客様に提案するために、私たちは化学のその先を目指します。「毎日の暮らしを豊かに」という同じ目的のもと、32,000人以上の社員が働いています。

免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AG はこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

(本プレスリリースは、2020年3月4日にドイツで発表されたものを翻訳しています。)